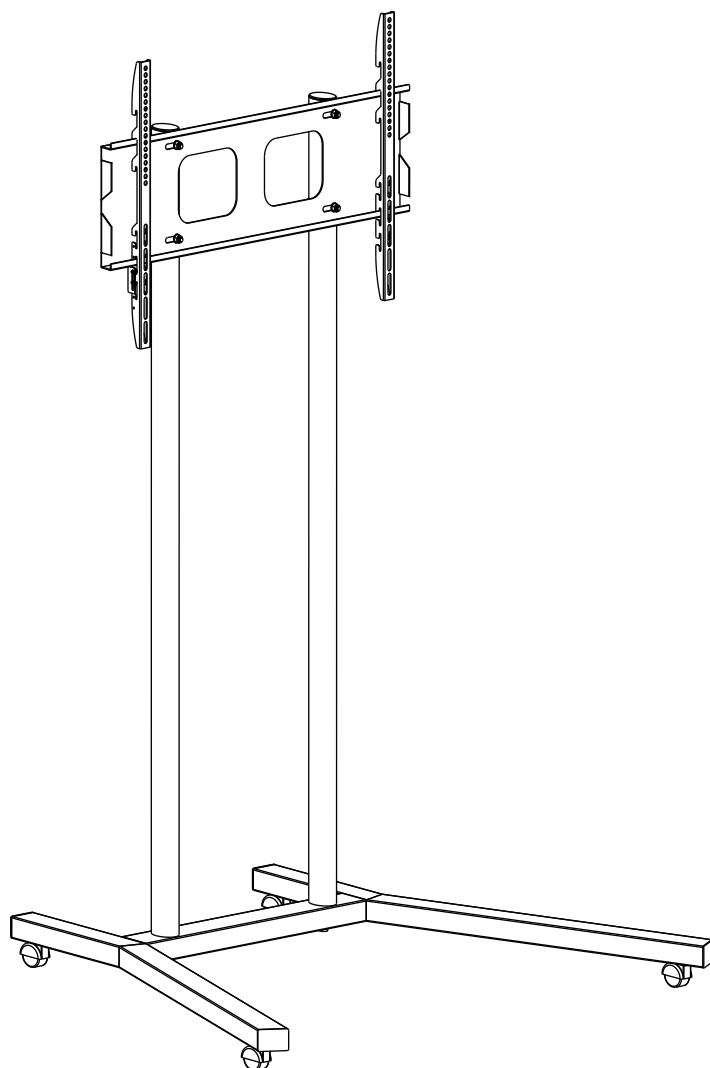


キャスター付きテレビスタンド 使用及び取付け説明書

型番『FS-401』



この度は本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
設置の前に本説明書をよくお読みのうえ正しく設置・使用してください。



ご注意

- ・説明書を無視した組み立て設置や誤った組み立て設置、取り付け不良、取り付け強度不足、本来の目的以外の利用および、天災などによる事故や破損については、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・取り付けを行う前に、テレビが今回お買い上げの金具部に取り付けできるかを今一度確認してください。
- ・スタンドはガラスやスチールを使用している箇所がございます。重量がありますので、基本的には2人以上で組立・設置作業を行ってください。
- ・設置作業を行うにあたって、安全性を十分に考慮し、設置中の怪我や、部屋及び家財にキズを付けることの無いようご注意ください。また、作業時は十分な作業スペースを確保してください。

ご注意

- ✓ 誤った組み立て設置や取付け不良、取り付け強度不足、本来の目的以外の利用や、天災などによる事故等については一切の責任を負えませんのでご了承ください。
- ✓ 組立設置に関しては必ず2人以上で取り付け場所等十分に注意したうえで作業を行ってください。組み立てに不安のある場合はDIY等が得意な方や設置業者へ依頼してください。
- ✓ 必要な部品は本説明書通りの手順で全て確実に取り付けてください。
不備がある場合、スタンドの破損やテレビの落下事故の原因になります。
- ✓ 次の場所にはなるべく常駐させないでください。
 - ・振動や衝撃が頻繁にあるような不安定な場所
 - ・ぐらつく、傾くなど不安定な場所
 - ・屋外や海岸、温泉に近い場所、湿度・温度の高い場所
 - ・動力用電源配線、空調機器、防磁型ではないスピーカーに近い場所
 - ・開閉するドアの近くなど、通常生活の行動に支障をきたす場所
- ✓ テレビ取付け後のスタンドは重量があります。移動の際は雑に扱わず、足元に注意しながら移動を行ってください。
- ✓ 本商品ごとに定められた許容重量以下のディスプレイのみで使用ください。

取付け設置時に必要になる道具・工具は揃っていますか？

- ◆プラスドライバー（長さの異なるもの数種類あると便利です）
- ◆滑り止め付きの軍手（手を怪我しないようにする為や、誤って落とさないようにご用意ください）
- 【その他あると便利な道具・工具】
 - ・厚手のタオルや柔らかい布（金具取付け時にテレビ画面のキズを防ぎます）
 - ・メジャー（設置場所などを決める際や穴を開ける位置の寸法を決める場合に作業がしやすくなります）
 - ・ペン、鉛筆など印を付けるもの

取付けを始める前にもう一度確認チェック！

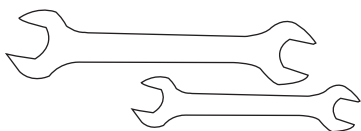
- ✓ 金具に不備はないかどうか、破損などの不良部品・不良箇所は無いかどうか
- ✓ 付属部品は揃っているか、取付けに足りない部品は無いか
- ✓ テレビの適合をもう一度確認してください。
テレビ側ブラケットを実際にテレビ背面のネジ穴に合わせてみましょう。

付属ネジに関して

テレビ側のネジ類は多くのテレビに取り付け可能にする為に、複数の径の太さで一般的な長さのネジを付属しています。万が一付属のネジで長さが合わない場合は別途ホームセンター等で適切な長さのネジ類をご用意ください。

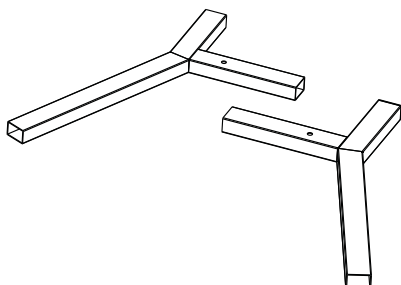
付属の部品一覧

※金具・部品の仕様や形状は実際とは多少異なる場合がございます。

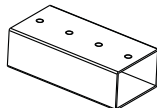


六角ナットや六角ボルトを取り付ける際に使用する
レンチセットが付属しています。

金具本体 / スタンド部組立用部品



a-1. スタンドベース部…左右 1 組



a-2. スタンド連結パーツ…1 個



a-3.M6 六角ボルト…4 個



a-4.M6 ワッシャー…4 個

※スタンドベースを連結する際に使用する部品です



b-1. キャスター…1 個

※キャスターを取り付ける際に
使用する部品です



b-2.M10 六角ナット…4 個



b-3.M10 ワッシャー…4 個



b-4.M10 スプリング
ワッシャー…4 個

金具本体 / パイプ部組立用部品



c-1. スタンドパイプ…左右 1 組



c-2.M12 ボルト…2 個

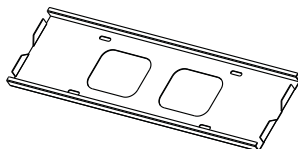


c-3.M12 ワッシャー…2 個



c-4.M12 スプリング
ワッシャー…2 個

※スタンド部とパイプを連結する際に使用する部品です



d-1. 取り付けプレート…1 個



d-2.M8 ボルト…4 個



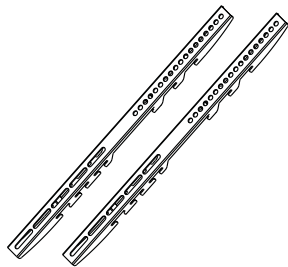
d-3.M8 六角ナット…4 個



d-4.M8 ワッシャー…8 個

※パイプと取り付けプレートを連結する際に使用する部品です

テレビを取り付ける際に使用するネジ類



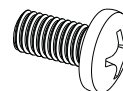
e. テレビ側ブラケット
2 個



f. M5x12 ボルト…4 本



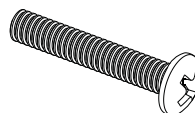
g. M6x12 ボルト…4 本



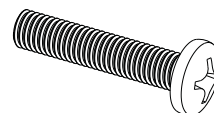
h. M8x16 ボルト…4 本



i. M5x30 ボルト…4 本



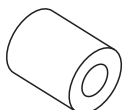
j. M6x35 ボルト…4 本



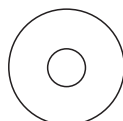
k. M8x40 ボルト…4 本



l. M5 スペーサー
4 個



m. M6/M8 スペーサー
4 個



n. M5 ワッシャー
8 個



o. M6/M8 ワッシャー
4 個

※付属しているネジは多くのテレビに合う一般的な長さのネジを付属しています。
万が一付属のネジで合わない場合は別途ホームセンター等で適切なネジ類をご用意ください。

Step1. モニターブラケットの取り付け ～テレビ背面がフラットの場合

※取り付け前に、テレビの据え置きスタンドや電源ケーブル等の配線を全て外してください。

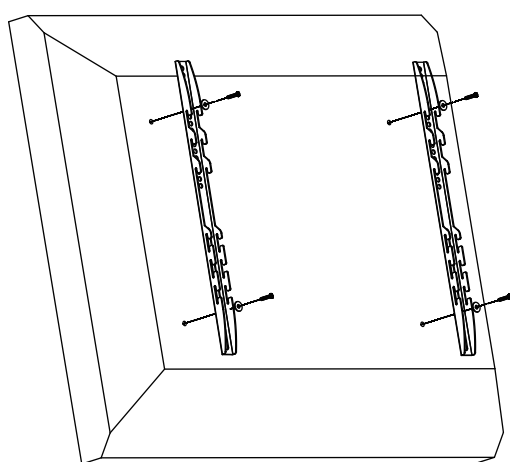
【テレビの背面がフラットで干渉する様な箇所がない場合】

※テレビ背面に段差がある場合は 4 ページをご覧ください。

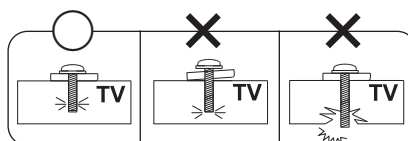
下の図を参考にして、テレビの背面に開いている金具取り付けネジ穴にテレビ側ブラケット (d) をワッシャー (n,o)、ボルト (f,g,h) を使って取り付けます。

この時ワッシャー (n,o)、ボルト (f,g,h) は テレビ背面の金具を取付けるネジ穴の大きさに合うものを取り付けてください。

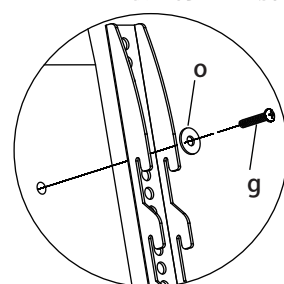
テレビ側ブラケット (d) の上下に注意してください。正円のネジ穴が空いている方が上、楕円のネジ穴が空いている方が下になります。また、2つのテレビ側ブラケット (d) が平行になる様に取り付けてください。左右とも取り付ける穴の位置は同じにしてください。



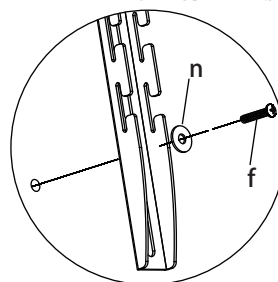
テレビ側ブラケットが
平行になるようにする



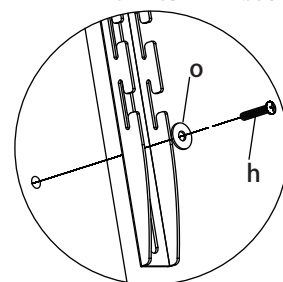
M6 ボルト取り付けの場合



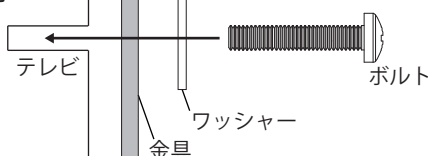
M5 ボルト取り付けの場合



M8 ボルト取り付けの場合



取付け順序



※M4 ボルトを使用するテレビの場合、M4 ボルトは付属しておりませんので別途ホームセンター等でご購入ください。ワッシャーは M5 ワッシャー (n) が使用できます。



ご注意

付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのテレビネジ穴の径や深さに合わない場合は別途適切なボルトをご用意の上お取り付けください。無理に取り付けを行うと、テレビの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。

Step1. モニターブラケットの取り付け ～テレビ背面に段差がある場合

【テレビの背面が段差がある場合や配線が干渉する場合】

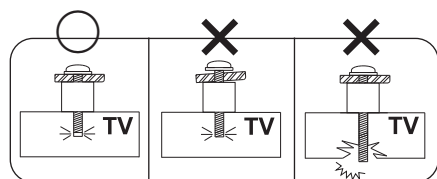
テレビに段差がある場合や、テレビ側ブラケット取付け時に配線等に干渉する場合は、スペーサーを使用して取り付けます。

下の図を参考にして、テレビの背面に開いている金具取付けネジ穴に、テレビ側ブラケット (d) をスペーサー (l,m)、ワッシャー (n,o)、ボルト (ij,k) を使って取り付けます。

この時スペーサー (l,m)、ワッシャー (n,o)、ボルト (ij,k) は テレビ背面の金具を取付けるネジ穴の大きさに合ったものを取り付けてください。

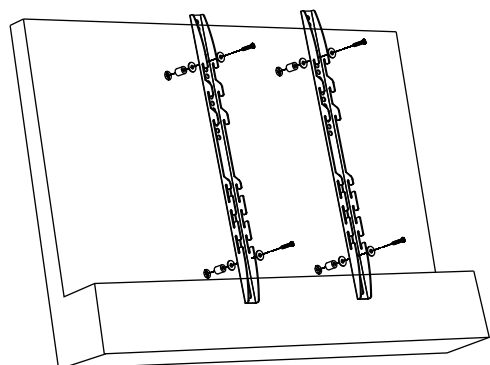
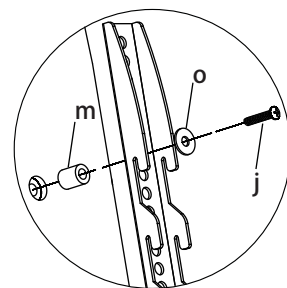
M5 ボルト (i) を使用する場合は、テレビ側ブラケット (d) と M5 用スペーサー (l) の間にもワッシャー (n) が必要です。ご注意ください。

テレビ側ブラケット (d) の上下に注意してください。正円のネジ穴が空いている方が上、楕円のネジ穴が空いている方が下になります。また、2つのテレビ側ブラケット (d) が平行になる様に取付けてください。左右とも取り付け穴の位置は同じにしてください。



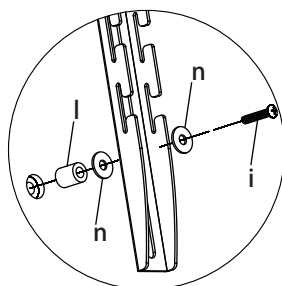
※M4 ボルトを使用するテレビの場合、M4 ボルトは付属しておりませんので別途ホームセンター等でご購入ください。ワッシャーは M5 ワッシャー (n) が、スペーサーは M5 スペーサー (l) が使用できます。

M6 ボルト取り付けの場合

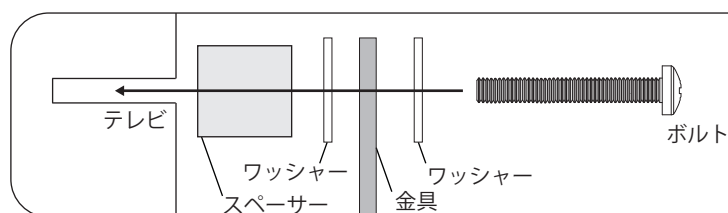
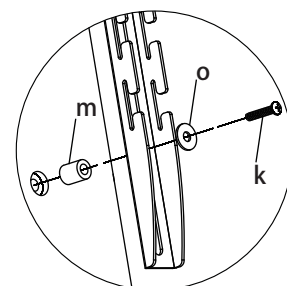


スペーサーを使用して
段差を回避する

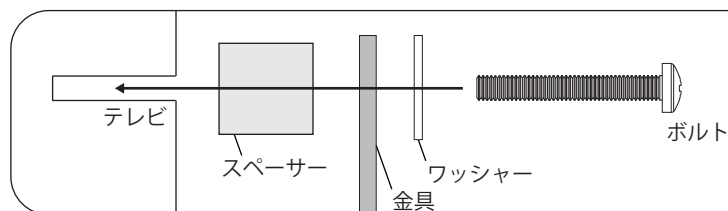
M5 ボルト取り付けの場合



M8 ボルト取り付けの場合



取付け順序
M5 ボルト取付けの場合



取付け順序
M6/M8 ボルト取付けの場合



ご注意

付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのテレビネジ穴の径や深さに合わない場合は別途適切なボルトをご用意の上お取り付けください。

また、スペーサーを使用しても干渉してしまう場合は無理に取り付けを行わないでください。

付属のスペーサーを両方使用しての取付けは大変危険です。

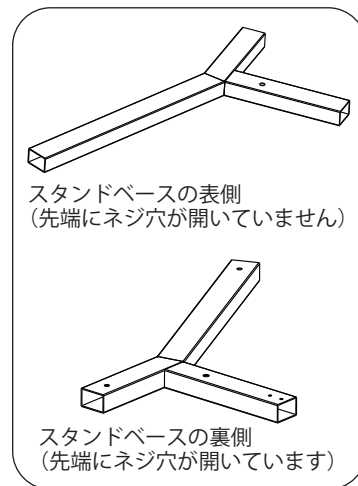
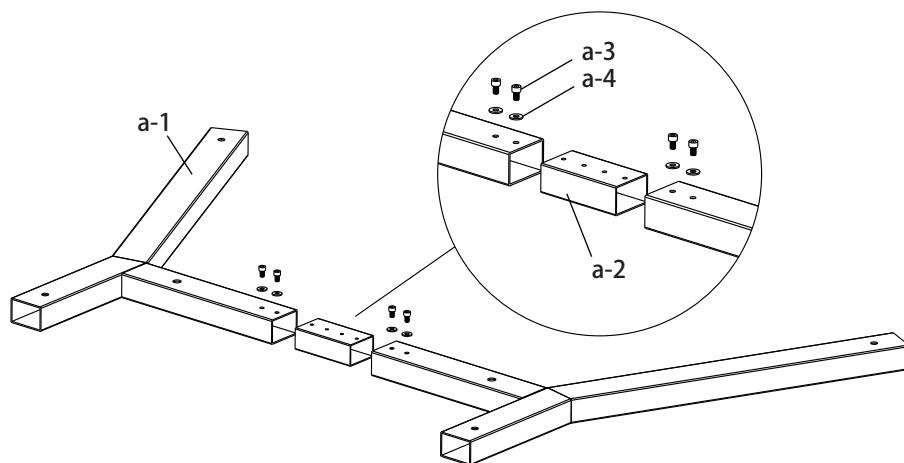
無理に取り付けを行うとテレビの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。

Step2. スタンドベースの組み立て

【1-1 左右のスタンドベース部を結合する】

下の図を参考にして、スタンドベース（a-1）を、スタンド連結パーツ（a-2）、M6 六角ボルト（a-3）、M6 ワッシャー（a-4）を使用して組み立ててください。

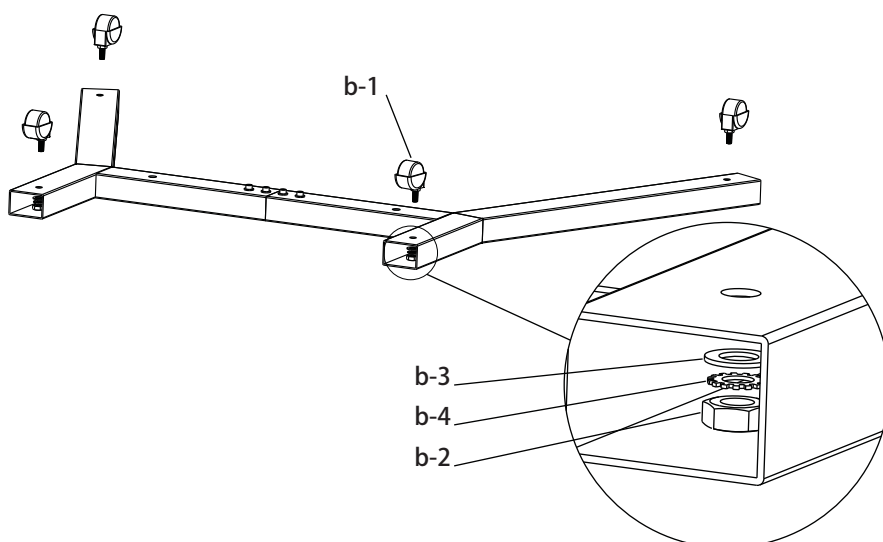
※スタンドベース（a-1）、連結パーツ（a-2）はネジ穴が上を向いている状態で取り付けを行ってください。



スタンドベース（a-1）の中にスタンド連結パーツ（a-2）を入れ、上部のネジ穴を合わせた状態で M6 六角ボルト（a-3）と M6 ワッシャー（a-4）で固定します。

【1-2 キャスターを取り付ける】

下の図を参考にして、1-1 で組み立てたスタンドにキャスター（b-1）を取り付けます。M10 六角ナット（b-2）、M10 ワッシャー（b-3）、M10 スプリングワッシャー（b-4）を使用して取付けてください。付属のレンチを使用して六角ナット（b-2）を押さえつけたままキャスター（b-1）を回してしっかりと固定します。



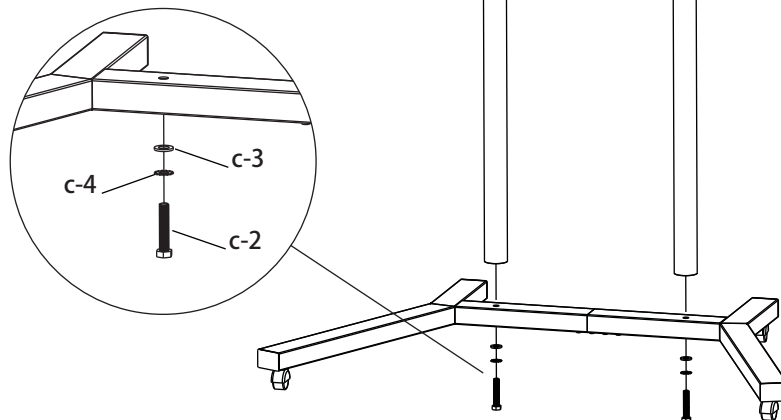
※1-2 まで完了したら、スタンドベースをひっくり返してください。

Step2. スタンドの組み立て

【スタンドパイプの取り付け】

スタンドパイプ (c-1) をスタンドベースに取り付けます。
スタンドパイプ (c-1) は 2 点穴が開いている方が上になり、底に穴が開いている方が下になります。
スタンドベースの底側から M12 ボルト (c-2)、M12 ワッシャー、(c-3)
M12 スプリングワッシャー (c-4) を刺しこみ、スタンドパイプ (c-1) を取り付けます。

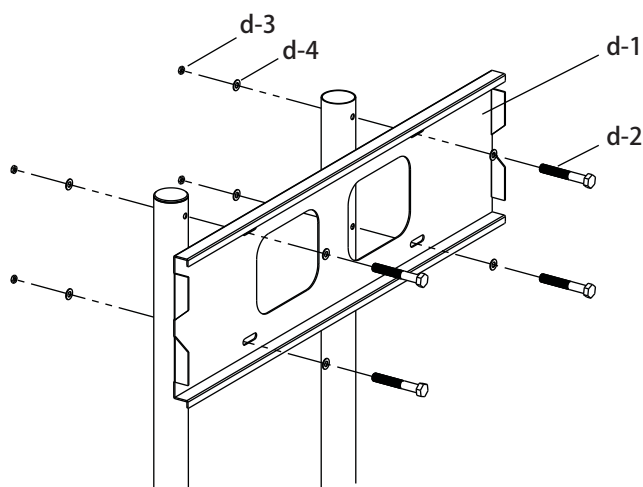
※本作業は 1 人では大変行いづらい作業となっております。
出来る限り 2 人以上で作業を行ってください。



専用の棚を購入されている場合、スタンドパイプ (c-1) の取り付けを行ったあとに専用棚の取り付けを行います。取り付けプレートを先に取り付けてしまうと専用棚を取り付ける際に再度外す必要がありますのでご注意ください。

【取り付けプレートの取り付け】

スタンドパイプ (c-1) がしっかりと取り付けたら、上部の取り付けプレート (d-1) を取り付けます。
下の図を参考に、スタンドパイプ (c-1) の上部にあいている穴と取付けプレート (d-1) の穴 4 点を通して
M8 ボルト (d-2) を正面から通し、裏側から M8 六角ナット (d-3) と M8 ワッシャー (d-4) でしっかりと固定してください。



※ここまででスタンドの組み立ては終了です。
最後に再度しっかりとボルトやナットが締まっているかどうかを確認してください。

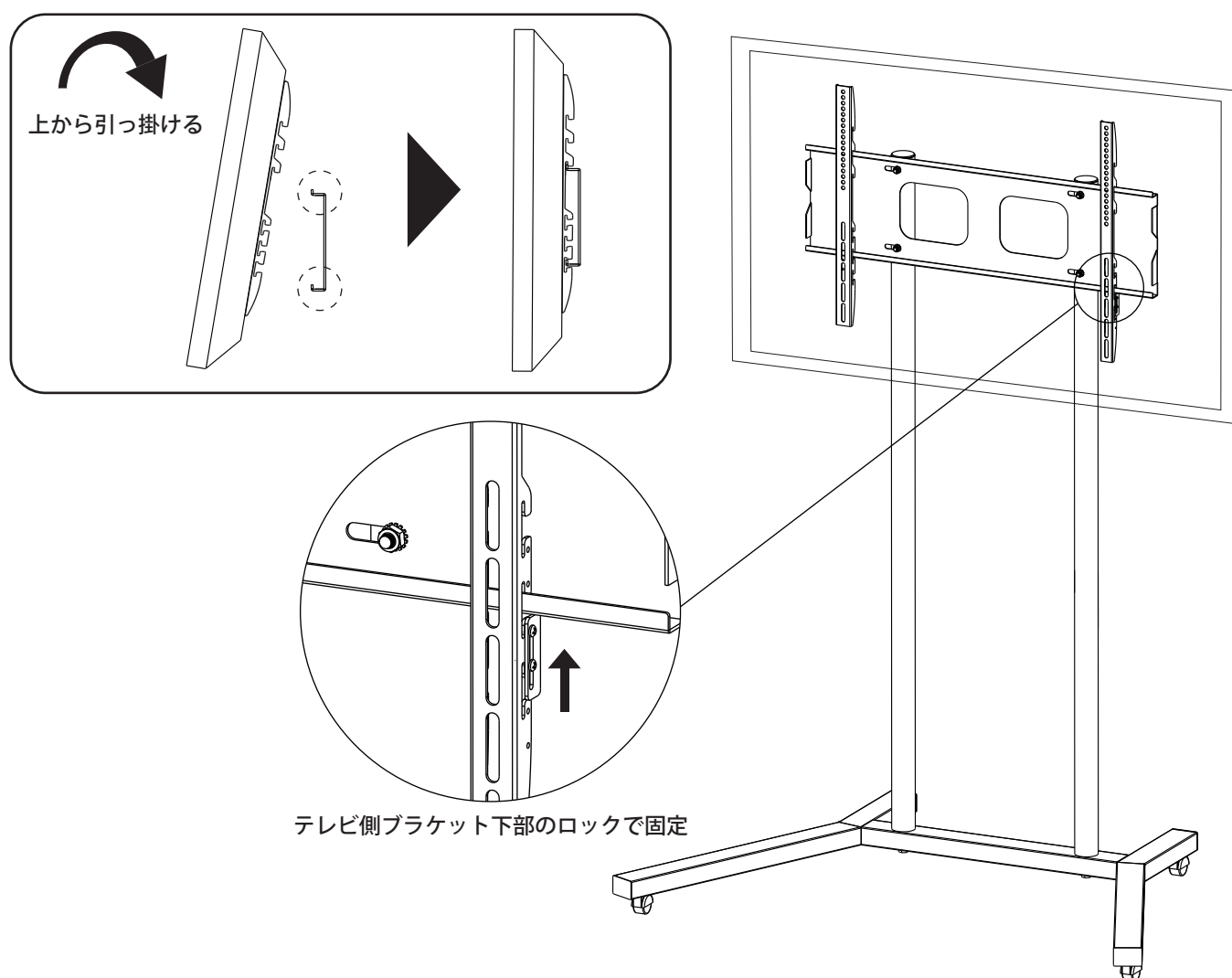
Step3. 取り付けプレートにテレビ側ブラケットを引っ掛けて固定する



- ・この項目での作業は、テレビの大きさや重量によっては大変困難な作業となる場合がございますので、無理に1人で作業を行わずに2人以上での取り付け作業を行ってください。
- ・無理な作業による作業者の負傷や、テレビや金具などの破損・損傷などについては弊社では一切の責任を負えませんので、安全に作業を行うようにしてください。

【取り付けプレートにテレビ側ブラケットを引っ掛けて固定する】

下の図を参考にして、テレビ側ブラケット (e) の引っ掛ける部分を、取り付けプレート (d-1) のくぼみへ上から引っ掛けてください。しっかりと引っ掛かっている事が確認できたら、テレビ側ブラケット (e) の下側にあるロック機能を用いて、テレビ側ブラケット (e) を取り付けプレート (d-1) にしっかりと固定してください。



Step4. 最終確認

各取り付け部分およびボルトやネジ・ナットの緩み、ガタがないかを確認してください。緩みが確認できた際は増し締めをしっかりと行ってください。少しでもガタや、違和感があつた際には取り付けを中止してください。

この確認作業は定期的に（3ヶ月～半年に1回程度）実施し、問題なく使用できていることを確認してください。

経年使用による落下が無いように注意をして使用してください。